

かんばるっこ子



成羽スポーツ少年団
成羽FOS少年団

7月31日の早朝、前日の成羽愛宕大花火の余韻が残る成羽川河川敷。しかし、そこには昨夜のきれいな花火からは、想像もできないくらいゴミが散乱していました。

そのゴミをボランティアで拾い集める成羽スポーツ少年団と成羽FOS少年団。この日は大雨にもかかわらず約40人の団員と保護者や関係者が集まりました。

成羽スポーツ少年団は、柔道12人、剣道18人、野球16人、バレー28人、全体で74人の団員で、日ごろは週2日それぞれの練習に励んでいます。FOS少年団は、友情(Friendship)・秩序(Order)・奉仕(Service)の精神と、実行力ある社会に役立つ人となることを目指して誕生した団体で、現在14人。



※少年団のほかにも時間や場所をずらして、地元の方や成羽中学校の生徒も清掃活動を行いました。

地域に貢献

一大好きな町をきれいに

清掃活動に参加した土谷涼紀くん(成羽小学校6年・成羽町下原)は「空き缶やタバコの吸い殻とか、いっぱいゴミがあつてびっくりしました。花火を見るのはいいけど、マナーをちゃんと守って、ゴミは決められたところに捨てるか、持ちかえってほしいです」と話します。赤木咲良さん(成羽小学校6年・成羽町星原)は、「今日のごみ拾いは大雨で大変だったけど、みんなが使う道や土手がきれいになってよかったです。中学生になつてもこの活動を続けていきたいです」と笑顔。

清掃活動を通じて、地域に貢献し、同時に、地域を大切に思う気持ちも養っている少年団。10月に開催される国体に向けての清掃活動も行っています。

来年の花火大会の翌日には、ゴミのない、きれいな町並みが見られるよう、皆さん一人ひとりがマナーを守る心がけましょう。



菅野かなえさん(17)
下谷町

晴れの舞台で表彰台めざして

晴れの国おかやま国体で陸上競技「少年女子A三段跳び」(高校2・3年生対象)の出場を目指している菅野かなえさん。高梁中学校出身で倉敷中央高等学校の3年生。7月16日に行われた国体岡山県最終選考会での種目を制し、国体出場に大きな手応えをつかみました。6月にあつた県選手権では、今期、全国高校ランク3位となる11位67(自己記録)をマークし、まさに飛躍途上です。中学時代から本格的に陸上を始め、高校1年生時のジュニアオリンピックでは全国5位という輝かしい成績を残しています。

身長166センチという恵まれた体と着地までの伸びが武器。顧問の森定先生は「体が出来上がり、基本的な体力を持ち備えている。故障にもめげず強い気持ちを持っていて、国体では十分上位を狙える力がある」と期待を寄せています。

菅野さんは「練習も試合も、笑顔で楽しもうという気持ちで望んでいます。私は明るさがモットーですから」と話すとおりの取材中も笑顔があふれていました。「国体出場は1年生の時から目標としてきた特別な大会です。けがを恐れず思い切って飛ぶだけ。国体では12メートル30センチを飛びます」と力強く話します。父親の昇さん(46・高梁中学校保健体育教諭)は走り幅跳びの岡山県記録保持者で、「父からのアドバイスが本当に心強いです」とも話します。同陸上部の友人は「競技中の集中力のすごさは見習うことの一つです」と信頼も厚いようです。国体出場者(陸上競技)の発表は、遅くとも9月初旬の予定。桃太郎スタジアム(岡山市)の表彰台を目指す彼女に期待したいです。





台湾・韓国の大学と教育協定調印

海外教育交流協定校
計11カ国32校に！

本学園は、6月18日韓国・^{チェジュ}濟州観光大学(1993年開校・学生数約3000人)、7月12日韓国・^{ヨソジュ}驪州大学(1993年開校・学生数約6000人)、7月22日台湾・^{イウタウ}育達商業技術学院(1999年開校・学生数11,000人)と新たに教育交流協定を締結しました。今回の調印により本学園の海外教育交流協定校は計11カ国32校になりました。今後は協定書に基づき、

- (1)学生及び教員・職員の交流
- (2)共同研究計画及び教育活動の推進
- (3)教育・研究に必要な資料と図書との交換等を行っていきます。

8月には、今回協定を結んだ台湾・育達商業技術学院に加え、台湾・^{トウコウカギン}稲江技監管理学院からも研



修団が来日します。8月22日には高梁市内を観光。滞在中、高梁市・学園への理解を深めてもらい、帰国後一人でも多くの人にそのよさを伝えてもらいたいと考えています。

夏休み期間中は、海外からお客様が来られるだけでなく、多くの学生達が海外へ出発します。今年にはカナダ オンタリオ州 モホークカレッジ・米国 オハイオ州 フィンドリー大学へ短期研修団を派遣します。またハワイ大学ヒロ校へ留学する学生6名が日本を出発する予定です。参加した学生達が現地では何を学び、どのように成長して高梁へ戻ってくるのか、研修・留学後に学生たちと会うのが今から楽しみです！

■問い合わせ 高梁学園広報室 フリーダイヤル0120-25-9944 / e-mailアドレス:koho@kiui.ac.jp

編集後記

この時期、市内では夏のイベントが各地で行われていますが、その多くは一夜限り。しかし、その一夜の輝きのために、多くの人の協力や支援があります。松山踊りの練習、成羽の仕掛け花火作り、川上の絵ぶた作り、各地区で行われる納涼祭の準備など、休日や仕事のあとに集まって取り組んでいます。「地域に貢献した

い「自分を輝かせたい」などと思いは人それぞれですが、これは地域を大切に思う気持ちがあればこそ、できることだと思います。地域を大切に思う人たちの取り組みによって地域が輝き、その輝きが地域住民を今以上に輝かせていくような気がしています。皆さんも地域の行事に積極的に参加して、輝いてみませんか？ (T・K)

健康増進施設「朝霧温泉ゆらら」で筋力アップ教室ひまわり(※)に参加している皆さん。参加者は現在6人。運動指導員の説明を受けながら、それぞれの体力や筋力にあわせて、いすやボールを使って筋力アップ運動やストレッチ体操を和気あいあいと行っています。この教室は、10月まで週2回、延べ24回開講。筋力アップの運動だけでなく、筋力測定、骨密度測定、栄



筋力アップで健康づくり 筋力アップ教室ひまわり受講者

わたしの健康づくり

養士による食事指導など多岐にわたっており、自分に適した健康づくりができます。酒井スギヨさん(80)〔鉄砲町〕は「以前はペットボトルのふたを開けることやバスの乗り降りが一人でできなかったけど、今は一人でできるようになったんだよ。それが私の自慢」と笑顔いっぱい。内田二郎さん(80)〔落合町近辺〕は、「家にいて何もできない運動になる。残りの教室も頑張りたい」と話します。参加者同士、「足がこの前より上がるようになったんだよ」と報告しあったり、帰り際には「次もがんばりましょうや」と声をかけあって、仲間づくりの場にもなっています。



無理なく楽しみながら
取り組む教室参加者

※1 筋力アップ教室ひまわり
市が実施している高齢者の介護予防モデル事業。介護予防の一つに筋力アップを取り入れた新しい試み。基礎体力の向上や動脈硬化改善の効果があるとされる。有漢地域センターでも実施中。今後、教室の成果をみて全市に広めていく予定。